

# 新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：九州地方整備局 道路部 地域道路課  
 担当課長名：西川 勝義

事業名	市道 竹敷 <sup>たけしき</sup> 昼ヶ浦 <sup>ひるがうら</sup> 線		事業区分	地方道	事業主体	対馬市								
起終点	自：長崎県 <sup>つしま</sup> 対馬市 <sup>みつしま</sup> 美津島町 <sup>たけしき</sup> 竹敷 至：長崎県 <sup>つしま</sup> 対馬市 <sup>みつしま</sup> 美津島町 <sup>たけしき</sup> 竹敷			延長	1.2 km									
事業概要	一級市道竹敷昼ヶ浦線は、昼ヶ浦地区から美津島町の中心へ連絡する延長約7 kmの路線であるほか、対馬市の地域産業である水産・観光の拠点であり地域の振興に重要な役割を担う路線である。未整備区間である竹敷工区は県道交差点から約1.2 kmの2車線道路である。													
事業の目的、必要性	竹敷工区は、対馬市役所への連絡道路及び、公共施設等の公共利用に資する道路として交通量が増えるため、交通安全の確保・日常生活や緊急時の連絡路の確保に大きく寄与するものである。													
全体事業費	7 億円		計画交通量	600台/日										
費用対効果分析結果	B/C	2.0	総費用	6 億円 （事業費：6億円 維持管理費：0.1億円）		総便益	1.2 億円 （走行時間短縮便益：1.2億円 走行費用減少便益：0.3億円 交通事故減少便益：0億円）		基準年	平成15年				
感度分析の結果	交通量変動：B/C=2.1（交通量+10%） B/C=1.7（交通量-10%） 事業費変動：B/C=1.7（事業費+10%） B/C=2.1（事業費-10%） 事業期間変動：B/C=1.9（事業期間+20%） B/C=2.0（事業期間-20%）													
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・個性ある地域の形成（特別立法（離島振興法）に基づく事業である） 他9項目に該当（定量的評価項目を含む）													
関係する地方公共団体等の意見	対馬市としてH19での漁協合併を進めており、合併後は昼ヶ浦漁港の水揚げ量の増加が見込まれているため、運搬車等の大型車交通量の増加が予想される。このことにより早期整備の要望を受けている。													
事業概要図	<p>The figure consists of two maps. The left map shows Nagasaki Prefecture with the project location marked. The right map is a detailed view of the road route, showing the Takeshiki area, Hirugaura area, and the project section of 1.2 km. Key landmarks include the Takeshiki area, Hirugaura area, and the project section connecting them.</p>													
	<table border="1"> <tr> <td>凡</td> <td>例</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td>■ ■ ■ ■</td> <td>事業中</td> </tr> <tr> <td>▨ ▨ ▨ ▨</td> <td>新規事業箇所</td> </tr> </table>						凡	例	■	供用中	■ ■ ■ ■	事業中	▨ ▨ ▨ ▨	新規事業箇所
凡	例													
■	供用中													
■ ■ ■ ■	事業中													
▨ ▨ ▨ ▨	新規事業箇所													

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。